

## 歴博くらしの植物苑だより

くらしの植物苑観察会

第105回 12月15日(土) 13:30~くらしの植物苑東屋  
『サザンカの世界』 箱田直紀 恵泉女学園大学名誉教授  
「冬の華・サザンカ」の研究の第一人者の箱田先生にサザンカをめぐる様々なお話や、明治期における佐倉市とサザンカの関わりについて、ご講演いただきます。



第106回 1月26日(土) 13:30から くらしの植物苑東屋 秋月(カンツバキ群)  
『炭と植物』 吉村郊子 本館研究部歴史研究系

### 「冬の華・サザンカ」展が始まりました。

冬の華・サザンカの展示は東屋やハウス(2棟)のみならず、苑内の地植えのツバキ属もご覧いただけるようになっていました。野外では、11月からサザンカ群、カンツバキ群、年を越えて、ハルサザンカ群と順次咲いていきますので、展示期間が2ヶ月にも渡っています。もちろんサザンカは自生している植物ですが、ヤブツバキは津軽地方まで分布します。サザンカは山口県くらいまでしか分布しないので、この近隣で自生種をみることはありません。苑内には自生種のサザンカを地植えしてあります。白色の一重咲きのものです。



内覧会で解説する箱田先生



自生種の白いサザンカ



福雀(サザンカ群)



華子姫(サザンカ群)

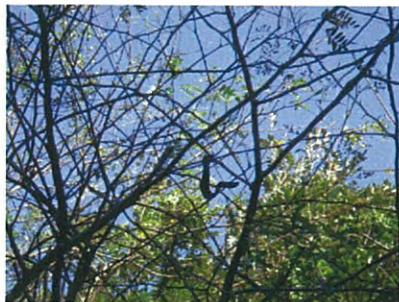


朝日鶴(サザンカ群)



サイカチ (マメ科サイカチ属)

幹に枝の変化した棘を持つ、落葉高木です。葉が落ちて豆果が良く見えます。果実は扁平で少しねじれています。果皮莢にはサポニンを含み、石鹼の代用として利用されます。



シキミ (シキミ科シキミ属)

仏壇やお墓に供えられたりする、常緑低木です。シキミは全木有毒で、臭いがありカラスもシキミに近づかないと言われています。果実は袋果で袋の中に1個の種子が入っています。



だんだんと果実の形が出来てきます。

マンリョウ (ヤブコウジ科ヤブコウジ属)

山地の木陰に生える常緑の低木です。果実が赤くなるので観賞用に栽培されており、果実は鳥が好んで食べます。名前や赤い実をつけるので、お正月の飾りに使われます。



マンリョウの果実をよく見ると、果柄が色付きはじめてから果実が色付いていくのがわかります。

